

## 4. 提案

### (1) 多文化都市八戸推進プロジェクトの提案

八戸における多文化都市推進の目標として掲げる「3つのまち像」を目指し、「3つの視点」から様々な事業を展開する必要があります。

当会議では、多文化都市八戸推進プロジェクトとして提案する事業を、以下のとおり4つの領域に分類しました。各領域は密接な関係にあり、これらの事業を有機的に連携させて行うことにより、目標が達成されるものと考えます。

#### ① 八戸の文化発信プロジェクト

市民やアーティストが八戸の多文化の魅力を十分に理解し、さらに、その素晴らしさが市外の方々から認められるためにも、これまで八戸の弱点とされていた文化の発信面に力を注ぐことが求められています。まず、市民の日常の文化活動はもとより、優れた才能を持ちながらも作品や活動を発表する場を持たないアーティストの発掘や発表機会の創出に結びつく事業を実施する必要があります。

そして、小規模であっても社会的にインパクトを与えられるような、八戸の多文化を市内外へ向けて強力に発信する事業を継続して行っていく必要があると考えます。

このような考えから、次の事業を提案します。

#### (事業例)

##### ○文化ポータルサイトの開設

八戸の文化活動状況が一括してわかるポータルサイト(インターネットで八戸の文化活動にアクセスする際に入口となるホームページ)を開設する。

##### ○アートフリーマーケット事業

遊休地や空き店舗等を活用し、誰でも自由に創作活動や作品を発表できる場を創出する。

##### ○八戸の文化情報発信事業

メールマガジン等により、八戸市内で行われている文化活動の情報を市内外に向けて発信する。

#### ② まちの魅力づくりプロジェクト

多文化都市の推進がまちづくりに果たす役割は非常に大きく、八戸市の魅力づくりの大切な方策であると考えます。

市民が仕事帰りに気楽に演劇や音楽を楽しんだり、買い物がてら美術鑑賞したり、

あるいは創作活動の現場に自由に見学・参加できるなど、市民が優れたアートやアーティストと身近に接することで、文化と自らの日常生活には大きな関わりがあることが感じられる事業を実施する必要があります。

このような考えから、次の事業を提案します。

(事業例)

○八戸アートストリート事業

中心市街地の横丁の壁面等を利用し、市民の創作物の展示等を行う。

○HPMを活用したまちの魅力づくり事業

文化発信・創造拠点としてHPMを活用し、中心街に様々な価値観を持った人々が集まる「市場」のような賑わいを生み出す。

○「(仮称) 八戸文化村」事業

美術館と、移転予定の消防署庁舎の建物を連結するなどにより、市民の創作活動の場や身近にアートを感じられる場所として活用する。

### ③ 担い手育成プロジェクト

市民が文化活動に参加する形態としては表現者としての関わりだけではなく、裏方として、あるいは鑑賞を楽しむなど様々です。特に鑑賞については、優れた芸術に触れられる環境づくりのほか、難解な作品を読み解くための理解力を養う場も重要です。

また、現在の八戸の文化をリードしているアーティストによる後継者育成活動を支援するとともに、市民一人ひとりの「感性」や「創造力」を高め、様々な立場から文化活動に容易に関わることができる事業を行う必要があります。

このような考えから、次の事業を提案します。

(事業例)

○アートワークショップの開催

創作に直接関わるもののほか、裏方や鑑賞の楽しみ方等、様々な市民ニーズに対応したワークショップを開催する。

○アートボランティアの参加促進

文化イベントの際にボランティア参加のインセンティブとなるよう、ボランティア参加状況をポイント換算してチケットと交換できるシステム等を導入する。

○芸術鑑賞事業

市民が様々な分野の優れた芸術を鑑賞できる機会を提供する。

#### ④ 文化活動サポートプロジェクト

プロスポーツでは、特定のチームを応援する熱狂的なファンが見受けられますが、そのような人々は応援する事に楽しみを見いだしています。同様に、文化活動を活発化させるためには、市民が文化団体や文化活動、作品の支援に楽しみながら関われる仕組みを考え、多くの文化サポーターを取り込んで行く事が重要です。また、文化団体・活動の本拠地となる場所の整備も求められており、文化団体の活動環境をソフト・ハードの両面からサポートする事業が必要です。

このような考えから、次の事業を提案します。

(事業例)

○市民企画事業のサポート

市民が新たな文化事業を企画・実施しやすい環境づくりのため、公募による補助制度を実施する。

○文化施設間ネットワークの構築

公・民間問わず市内の文化施設の連絡会を設置し、ネットワークを強化して情報の共有化を図る。

○多文化都市八戸推進基金（ファンド）の創設

基金（ファンド）を創設し、市民や企業等から寄付を募り、文化団体の活動資金として活用する。

## (2) 実現に向けての推進体制

多文化推進でまちを元気にするために、市民、文化団体、行政等が一体となって、それぞれが次のような役割を果たしていく事が期待されます。

### ① 市民

市民は一人ひとりが多文化推進の担い手であることから、多様な価値観を認識し、受け入れるとともに、まちの活性化における文化活動の重要性を理解し、積極的に文化活動に参画する事が求められます。

### ② 文化団体等

文化団体は文化活動に参画する市民により自発的に構成されていますが、会員間・団体間の交流を促進して互いの文化活動の向上に努めるとともに、新しい文化の創出に寄与する事が求められます。